

太陽光展 ZEH住宅の採用例 石付き金属対応金具も

第9回太陽光発電システム施工展(主催・リードエグジビションジャパン(株))が2月28日〜3月

2日まで、東京ビッグサイトで開催された。展示会では、(株)カナメ(栃木)が屋根一体型太陽電池「カナメソーラールーフ」を展示したほか、「ZEH(ゼロエネルギー住宅)に統々採用中!」の看板を掲げて、ソーラールーフのZEH住宅への施工例を写真パネルで紹介した。

陽電池「カナメソーラールーフ」を展示したほか、「ZEH(ゼロエネルギー住宅)に統々採用中!」の看板を掲げて、ソーラールーフのZEH住宅への施工例を写真パネルで紹介した。

(株)タイドハント(大阪)は、石付き金属屋根材用のモジュール設置金具「DK1」を模擬屋根に取り付けて前面に打ち出したほか、金属屋根の横葺き、立平葺きに対応する設置金具を屋根材

に取り付けて展示した。このほか(株)栄信も、モジュール固定金具などで注目を集めた。また同時開催していた第11回国際太陽電池展では、F・WAVE(株)(東京)が「ZEH向け太陽電池完全一体型屋根材」や「太陽光・太陽熱利用複合システム」など展示。



上からカナメ、タイドハント、F・WAVEの展示

一で、前年比増。

期間中の来場者数は、関連展示会を含め6万4399人